

地域の活性化を目指して

システム科学技術学部 経営システム工学科

1 年 木村 舞

1 年 刈屋 未夢

1 年 半田 咲輝花

指導教員 システム科学技術学部 経営システム工学科

准教授 嶋崎 善章

助 教 稲川 敬介

1. はじめに

近年、秋田県の過疎化が進んでいることから、私たちは過疎地域を活性化させ、秋田県の発展につながる研究をしたいと考えた。そこで私たちは、秋田の自然が豊富であることに着目し、他県の自然観光資源の活用状況を参考に集客に繋がる情報発信について提案する。近隣他県の自然観光資源に関して岩手県など東北の太平洋側では自然を活用した「みちのく潮風トレイル」[1]と呼ばれる海岸線沿いのロングトレイルが環境省より設置されており、フェイスブックの情報などから外国の観光客もおとずれていることがわかった。トレイルとは森林や里山、海岸、集落などを通る「歩くための道」のことである。歩くスピードで旅することで自然や動物と出会ったり、人と人とのつながりを感じたりすることができる[2]。また、秋田県にも東北自然歩道[3]と呼ばれる環境省が設置したトレイルがあるとわかった。

そこで、本研究は現地調査を通してこれらのトレイルの利用状況や問題点を明らかにし、最終的には外国人にも秋田を訪れてもらえるよう英語でトレイルのモデルコースを考え、フェイスブックで発信することを目的として活動をおこなった。

2. 手法

既存のトレイルについて調査をおこない、それらを基礎として秋田県のモデルコースを開発する。また、外国人向けに英語で情報発信できるようにする。

2-1. トレイルの現地調査

秋田県のトレイルモデルコースの参考とするため、まず他県のトレイルの調査をおこなう。調査対象としてはすでに実績のある「みちのく潮風トレイル」を採用する。現地調査では、コースの一部である岩手県大船渡市、宮古市のビジターセンターにて、トレイルの管理者に話を伺う。また、実際にトレイルウォーキングをしている方にアンケートを行う。次に、東北6県をつなぐ「東北自然歩道」の秋田県にあるコースの一部を実際に歩くことにより、問題点や情報発信をどのように行っていくべきかなどを模索する。

2-2. 秋田県のモデルコース開発

東北自然歩道の既存コースを組み合わせ、新たにオリジナルコースを作る。その際外国人観光客のために英語で付近の宿泊施設や見どころなどの情報を付け加える。

3. 現地調査

3-1. トレイルの現地調査（令和元年 8 月 16 日～令和元年 8 月 18 日）

潮風トレイル利用者の特徴を把握するために、性別、年代、出身、誰と参加したかについてアンケート調査をおこなった。また、トレイルを利用した目的、知ったきっかけ、足りなかった情報、要望などを調査し、利用者がトレイルに求めるものについて明らかにした。アンケート調査より、県外からの利用者が多く、20 代～70 代まで幅広い年代の方々が利用していることがわかった。また、長距離を何日もかけてスルーハイクする人は少なく、ほとんどの利用者は数時間で歩ける短い距離を歩いていた。トレイルを知ったきっかけとしては、雑誌を見て知ったという人もおり、雑誌での宣伝効果が伺えた。また、トレイルを利用する前に欲しかった情報として、駐車場や食事処、所要時間などの情報が欲しかったという意見があった。その他要望としては、道が悪い、標識がわかりにくいなどがあった。

さらに、碓石海岸ビジターセンターを訪問し、管理者にインタビュー調査をおこなった。潮風トレイルは 2019 年 6 月に全開通し、新聞や広告で地域住民に広めて知名度を上げてきた。トレイルでおこなわれるイベントなどが新聞に載った次の日は、地元の人が多く訪れる。また、トレイルを利用する人の特徴としては、県内と県外の利用者数が半々で、50～60 代の年齢層が多く、スルーハイクをする人は 1 割にも満たない。フェイスブックの効果もあり、外国から訪れる利用者もいる。そして、潮風トレイルはネットでマップを申請することができ、私たちが訪問した 8 月のトレイルマップ申請は 12 件であった。利用者を増やすための工夫としては、限定のバッジの配布、スタンプラリーを行うビジターセンターもある。一方、現在の潮風トレイルの欠点としては、トレイルで町にお金が入る仕組みがない、ビジターセンター間で連携がとれていない、パンフレットに宿泊施設や食事施設の情報がなく、トレイルの道を示す標識が見つけにくいなどが上げられた。

3-2. 東北自然歩道＜新・奥の細道＞（秋田県）調査（令和 2 年 11 月 9 日）

由利本荘市に存在する東北自然歩道のひとつである石沢峡を訪れ、トレイルとしての現状を調査した。その結果、以下の問題点が浮上した。

- ・東北自然歩道のコースが看板などで明確に記されていない
- ・東北自然歩道としての知名度が低い
- ・海外からの来訪者を積極的に呼び込んでいない

このことから改善策として、トレイルのコースを表記した看板となるものを設置すべきである。それらを設置することで、東北自然歩道の認知度を上げることにつながると考えられる。しかしながら、これらの提案を本研究で実現することは難しい。そこで、外国人観光客がフェイスブックを活用している点に着目し、秋田のモデルコースを英語で作成して、フェ

イスブックで発信することにした。関連図書[5]を参考に作成した秋田モデルコースの一例を以下に示す。

Shimohama Beach Route

First day

Time	Detail
Morning	Akita station → Shimohama station (15 minutes train ride, 240 yen) Shimohama station → in front of Shimohama elementary school (550 m, 7 minutes walk)
Afternoon	Shimohama elementary school bus stop → Shimohama beach ¹⁾ → National Route 7 → Kannondo entrance → Kannondo ²⁾ → forest road entrance → Kunimiyama summit → Sasayama pond → Maego bus stop (8.8 km walk, 2 hours 45 minutes)
Evening	Maego bus stop → Araya Railroad Crossing bus stop (13 minutes bus ride) → Kudo Ryokan Inn ³⁾ (800 m, 9 minutes walk) Maego bus stop → Akita Goshono hotel ⁴⁾ (15 minutes taxi ride)

Highlights

1) Shimohama Beach: It is popular beaches in Akita. You can swim in the sea in summer.



2) Kannondo: The temple have a history of hundreds of years. We can see the Mt. Chokai from there.

Where to Stay

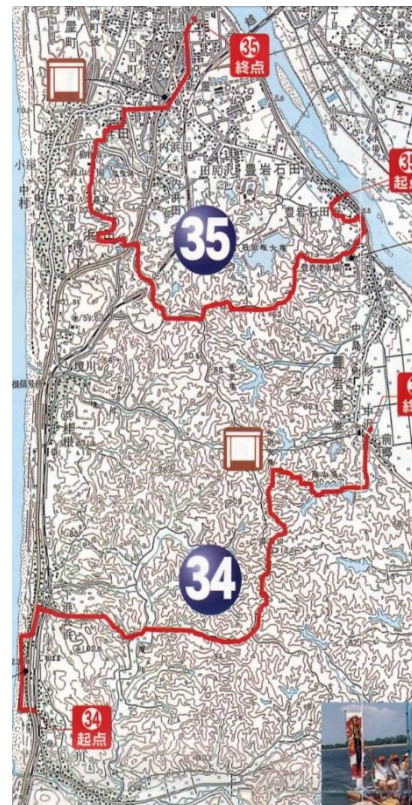
3) Kudo Ryokan (inn): It is a Japanese-style hotel. With 60 years of history the calm atmosphere is attractive.

Guests can eat seasonal regional cuisine in a private room.

There is a Araya Onsen (hot spring) in a 5-minute walk.

You will be able to walk and rest your tired body there.

4) Hotel Akita Goshono: Free breakfast. Free Wi-Fi. There is AEON Shopping mall Akita in the vicinity. There is also Komachi Onsen (hot spring), a 15-minute drive away.



秋田県公式サイトより

Second day

Time	Detail
Early morning	Kudo Ryokan Inn → Araya Railroad Crossing bus stop (800 m, 9 minutes walk) → Ishida Slope bus stop (7 minutes bus ride) hotel Gosyono → Ishida Slope bus stop (15 minutes taxi ride)
Morning	Ishida Slope bus stop → Toyoiwa water purification plant → Bairin garden ¹⁾ → National Route 7 → Omoriyama park → Omoriyama zoo ²⁾ → Hiyoshi shrine → Nishi Junior High School bus stop (9.7 km, 2 hours 55 minutes)
Afternoon	Nishi Junior High School bus stop → Akita station west entrance bus stop (26 minutes bus ride, 420 yen)

Highlights

- 1) Bairin garden: There are about 370 and many kinds of flowers. For example, winter solstice plum and single bloom. If you go there in spring, you can see the pink plum and enjoy the sweet smell. [4]
- 2) Omoriyama zoo: In addition to the zoo, there is also an amusement park, a camping ground and an observatory. You can see the Akita cityscape from the observatory, and you can enjoy the night view at night.

4. 結論・考察

私たちは、過疎化の進む秋田県の活性化と地域発展を目的として、秋田の豊富な自然を活用することができる「トレイル」に着目して調査をおこなった。その結果、みちのく潮風トレイルの調査では、駐車場や食事処などの情報が少ない、道路が整備されていないなどの問題点や利用者がトレイルに求めるものがわかった。また、東北自然歩道（秋田県）での現地調査では、外国人利用者の呼び込みが少ないという課題が明らかになった。それらをふまえて秋田県のモデルコースを英語で作成し、フェイスブックで発信することで外国人観光客を呼び込むことができる。しかし、何度も利用してもらえるようにするには、看板を設置するなどのコースの整備がされていないことが課題点である。

参考文献

- [1] 環境省：みちのく潮風トレイル, <http://tohoku.env.go.jp/mct/> (最終アクセス日：2020年3月17日)
- [2] 環境省：みちのく潮風トレイルパンフレット (2020年8月)
- [3] 秋田県：美の国秋田ネット, <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/13420> (最終アクセス日：2020年3月2日)
- [4] 秋田市：浜田森林総合公園施設案内, <https://www.city.akita.lg.jp/shisetsu/sports-koen/1006802/1006816.html> (最終アクセス日：2020年3月2日)
- [5] 秋田県の歴史散歩編集委員会：「秋田県の歴史散歩」山川出版社, 2008